

(様式2)

公の施設の指定管理者制度導入施設の管理運営状況調書【対象年度:令和4年度】

所管部・課	観光文化スポーツ部・観光課
指定管理者	田沢湖高原リフト株式会社

1 施設名等

施設名	仙北市縄文の森交流広場	施設の所在地	仙北市田沢湖字田沢瀧前63-2
-----	-------------	--------	-----------------

2 施設の概要

設置年月	平成16年4月	根拠条例等	仙北市縄文の森交流広場条例
設置目的	豊かな自然の中で住民が自由時間を利用して行う観光レクリエーション活動を図るため		
施設内容	縄文コテージ5棟、工房の館1棟、展望台1棟		
利用料金	縄文コテージ3,140円、入場料 大人500円 子供250円		

3 指定期間・選定方法

指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日 (5年間)
選定方法	公募(応募者数:1)・ 非公募 (随意指定)

4 収支の状況(決算ベース)

※財源内訳 (①指定管理料のみ ②指定管理料+利用料金収入 ③利用料金収入のみ) (単位:千円)

項目/年度		令和3年度	令和4年度	項目/年度		令和3年度	令和4年度
収入	指定管理料	0	0	支出	維持管理費	698	774
	利用料金収入	463	593		事業費		
	その他	91	88		その他	50	1
収入合計 ①		554	681	支出合計 ②		748	775
※臨時的経費除く。				収支差引(①-②)		-194	-94

5 指定管理者の業務内容

<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・キャンプ場利用お客様の予約 ・受付及び利用料金に関する業務 ・上記業務に附帯する業務

6 利用実績等

(1)利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】 (単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度(A)	350	1,107	453	1,308	1,517	1,229	956	31	0	0	0	0	6,951
令和3年度(B)	159	791	543	1,344	1,780	929	709	25	0	0	0	0	6,280
(A)／(B)	220.1%	139.9%	83.4%	97.3%	85.2%	132.3%	134.8%	124.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	110.7%

(2)利用料金収入 (単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度(A)	640	1,981	902	2,341	2,497	2,510	1,858	105	23	0	0	200	13,057
令和3年度(B)	331	1,343	1,081	2,311	2,929	1,884	1,400	265	410	0	0	0	11,954
(A)／(B)	193.4%	147.5%	83.4%	101.3%	85.3%	133.2%	132.7%	39.6%	5.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	109.2%

※1~3, 5: 所管課記入・4, 6: 指定管理者記入

7 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	
		評価	評価
施設の目的に沿った管理運営	事業計画に基づいた管理運営を行った。新型コロナウイルス感染症の感染レベルによる自粛要請等があり、管理運営に支障があったがアウトドア人気で目的は達成した。	A	協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を概ね実施したと認められる。
平等な利用の確保	ホームページを活用して各サイトの予約は先着順で受け付けるなど幅広い告知をして平等を確保した。	A	平等な利用を概ね確保できたと認められる。
利用者サービス向上の取組	新型コロナウイルス感染症対策として、検温・消毒等充実した。また、ホームページによる情報提供、Wi-fi環境の充実やポイントによるプレゼント等サービスに努めた。	A	利用者からのアンケート結果を基に、サービス向上のほか感染症対策も推進し、努めていると認められる。
自主事業	県指定管理施設部分で、Eマウンテンバイクのレンタル、ドックランを改修設置などを実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、集客は少数であったものの、県施設と連携して誘客に務めた。	B	自主事業の実施により、誘客が図られていると認められるが、更なる誘客に寄与する自主事業の展開に期待する。
職員・管理体制	職員は引続き、前年度の職員を雇用し、仕様書及び事業計画書に基づき職員配置を行った。また、社内より管理の応援を充実させ施設の管理を行った。	A	仕様書及び事業計画書に基づいた職員配置がなされている。
収支状況	収入681千円に対し、支出は775千円であり、94千円の赤字であった。	B	維持管理費の増加に適切に対応できたと認められる。赤字を100千円未満に抑えていることから、改良した施設を活用し、県施設と包括的な維持管理をすることで、利益を生み出すことを期待する。
今年度の取組(令和4年度)	場内の仕切りの柵の補修を行った。		管理者独自で施設維持管理に取り組み、環境の良さが集客や利益に繋がったとみられる。
総合評価	概ね協定書に基いた管理運営が実施できた。	A	概ね仕様書等の内容通りの成果と、収支状況が伴っており、適切な管理運営が行われている。

〈指定管理者評価区分〉

- A: 仕様書等の内容を上回る成果であった。
- B: おおむね仕様書等の内容どおりの成果であった。
- C: 仕様書等の内容を下回る項目があった。
- D: 仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項があった。

〈所管課評価区分〉

- A: 仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われた。
- B: おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われた。
- C: 仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
- D: 仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

8 制度の効果及び施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
制度の効果	コロナ過にあり、行動に制限等がある中で、前年を上回るご利用をいただき、アンケート等から利用者の評価が得られたと考える。	利用者へのサービス向上を図るなど、指定管理制度の導入による効果を期待する。
施設の管理運営の課題	施設の経年劣化に伴う老朽化が進んでおり、計画的に修繕する必要がある。	計画的な更新や改修を図って行きたい。

※7～8: 指定管理者及び所管課記入